



第379号
2018年5月
〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報委員会
「教区ニュース」編集部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行

世界広報の日・献金 5月6日
福音宣教は私たちの使命です。「世界広報の日」は新聞、インターネットなどの広報媒体を用いて行う宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金をささげる日です。

第40回日本カトリック正義と平和全国集会
2018名古屋大会
共に生きる地球家族
今問われる、私たちの選り、私の決意
2018年11月23日(金・祝)・24日(土)
主催 カトリック名古屋教区
共催 日本カトリック正義と平和協議会

教区ホームページ

福音のひびき	
5月の説教者	
6日	復活節第6主日 ボンパン・フレデリック・フリッツ (岐阜教会)
13日	主の昇天 島袋 幹男 (押切教会)
20日	聖霊降臨の主日 大海 明敏 (五反城教会)
27日	三位一体の主日 山野 聖嗣 (港教会)

僧侶、牧師らと共に 宗派・立場超えて祈る

東日本大震災から7年

東日本大震災・福島原発事故から7年目を迎えた3月11日、犠牲者追悼・復興祈願の日、宗派を超えてつなぐ祈りの手、集いがカトリック布池教会大聖堂で行われ、約300人が参列し復興祈願に手を合わせた。

初めに、松浦司教が「祈りの輪」に加わる方々と

の南原摩利さんによる現地報告があり、福島のかげがえのない大切な命、生かされている尊い命、仮設住宅における孤独死、放射線による風評被害などの現状を細かく話した。また南原さんは「聖霊病院の看護師、ホスピスで勤務していた時、80代の患者さんから『私は行けないから南原さんが行ってきて現地の事を伝えて』と言われた。その方は帰天したが今日はその方との約束を果たせる日になった」と付け加えた。

詩「3・11あの日から変わったこと」が朗読され、イスラムの方も一緒に入堂、祈りを共有した。地震が発生した14時46分に全員が黙祷を捧げた。

松浦司教が「マタイ2章16、18」を朗読し、「悲しみ痛む人々への同調」と題して説教した。

今日この御言葉を選んだのは、自然災害で命を落とした2万の魂を悼み、子どもを亡くしたラケルの嘆き悲しみを共にするため。幼子たちは人災によって命を奪われた」と話された。

真宗大谷派の井藤耕住職、木全惇生住職によ



宗派を超えて参加者全員で「花は咲く」を歌う



「カトリックは全人類のために奉仕する。そういう器を考えているがなかなか難しく今回も試行錯誤。こういう場を作ることが本場に大切で立場を超えて祈ることが多く人の協力で何とかできた」と、実行委員長の早川努神父の言葉で締められた。

金銀祝 司教・司祭 修道者・奉献生活者



司教叙階、司祭叙階、修道誓願、奉献生活誓願の金銀祝が3月21日布池司教座聖堂で行われた。この日はあいにくの雨天にもかかわらず、大聖堂をほぼ埋め尽くす人出で、松浦司教と約30人の司祭でお祝いのミサが捧

事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。わたしに判らなくても神が計画された時がある。司教叙階銀祝を祝うこの時を、50年ごと祝った旧約のヨベルの年に倣って、神にさらに関係をつくる機会にしたいと思えます。

司祭金祝
アメリカ、ペンシルヴァニア州のスクラントンにある私の家の隣にミカエル・ウォルシュという修道士が来て住み始めました。彼と私はとても



野村純一名誉司教
名東教会(名古屋教区)
わたしは司教叙階25周年を祝っていたのですが、司教叙階の時のモットーを「わたしたちは大勢でも一つの体です。」(1コリント10:17)としました。司教叙階54年目になります。今、自然に心に浮かんでくる言葉は、コヘレトの言葉「何

良い友達関係を築くことができませんでした。そして彼がニュージャージー州に帰る直前に、私に「神父になりませんか」と尋ねたのでした。彼からそのことを聞かされた時、私は「彼のような人になりたい」という思いで、彼をじっと見つめていました。何よりも彼の心の深さに私は強く印象づけられていたのです。そのため、あまり考えることなく「ハイ」と応えていました。そしてその3週間後、私はニュージャージー州のボーデンタウンにある神言会の修道院にはいったのです。これからも、私は多くの人に仕えることができるよう、彼らを手助けすることができるよう、そして彼らも神に対して「ハイ」と応えることができるよう、神が引き続き助けの手を差し伸べてくださいますように。

（聖心布教会）
ハンフリー・クリストファー神父
みこころセンター
大いなる神の愛と忍耐に、また、両親、家族と友人たち、会衆の皆様、聖心布教会の宣教師の皆様、言い尽くせぬほどに私に神への愛と励ましを示してくださいました。私の方々に感謝いたします。聖心の聖母マリアよ、私たちのためにお祈りください。

スワイアテック・ニコラス神父
瀬戸教会(コンベンツァル聖フランシスコ修道会)
50年間、私は神さまの恵みによって今まで頑なに忠実に歩んでまいりました。神さまに深く感謝

←2面へ続く

聖香油ミサ

“司祭職へ呼ばれたことへの感謝と 呼んで下さった方のために生涯かけて尽くす喜び”



司祭団に向けて話す松浦司教

司祭団に向けて話す松浦司教

過越しの聖なる三日間が始まる前日の3月28日、聖香油のミサが松浦司教と名古屋教区各地から集まった約70人の司祭との共同司式で、多くの信徒の参列を得て布池司教座聖堂で捧げられた。聖香油のミサでは秘跡の執行に用いる香油の聖別、病者の油と洗礼志願者の油の祝福が行なわれ、また司教と司祭団の一致を表し、司祭の約束の更新が行われた。

松浦司教は説教で、初めに司祭団に向かって「司祭職へ呼ばれたことへの感謝と呼んで下さった方のため生涯かけて尽くすことの喜びを、そして油を注がれて司祭になった時の熱意がこれ

から先も続くように」と語った。次に信徒に向かって「同じ油を注がれた信徒には司祭を支える役割があり、神がこの油を通して司祭と同じように宣教する使命が信徒にもある」と話した。信徒も司祭と同じ役割を担う者として、この後続いて行われる「司祭の約束の更新」の時に「心の中で一緒にこの約束をしてほしい」と加えた。

ミサの最後に司教が洗礼志願者の油の祝福と香油の聖別を行い、司祭団の退場に合せてすべての信者に託された宣教の使命を再確認するかのよう「行け地の果てまで」が力強く歌われた。



「一面から続く」
してあります。実際私は、神さまの愛に込めるために毎日「ミサをささげ、ご聖体の前での黙想

導を受けています。叙階50年を迎え、ま

ず神さまに、亡くなつた親、修道会の兄弟と恩人に感謝しております。日々辛い召命ですが、私は幸せです。

金祝
シスター 関司 良子
(聖霊奉侍布教修道女会)

今ここに在る事は予想もせず、ひたすらに過ごした日々、振り返る時、すべて神の御手の中で準備され、

私の思いではなく、計りしれない慈しみに包まれていた事を感謝する日となりました。

シスター 宇田 美智枝
(純心聖母会)

ある時から、5つのパシオンと2匹の魚を持つ少年は、私の生き方のモデルになりました。

今の私には、私でよければ、どうぞお使いください」という生き方があります。

これが神様と修道会として皆様方への感謝の心です。

シスター 田辺 毓子
(ドミニコ会)

主は私と共にいて下さり、共に歩んで下さっています。感謝と賛美の中に、これからの日々をお捧げいたしたく思います。

父母の齢はるかにこえきたり、天なる神のあわれみ歌わん

シスター 山本 良子
(聖霊奉侍布教修道女会)

「鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」(ルカ9・63) この聖句はわたしが修道院に入会するために家を出る時、父が言ったことばです。わたしはこのみ言葉を味わってきました。

シスター 柳山 文子
(聖霊奉侍布教修道女会)

「私はいつもあなた方と共にいる」とのみ言葉に、大きな支えと導きを頂き、主は忍耐深く共に歩んで下さったと思ひ返しております。人は出来事を通して、お互いを受

けられる関わりの積み重ねによって、神様の似姿に成長し続けられるものと感じるこの頃です。

シスター マリア カルメン デイエス
(聖マリアの無原罪教育宣教師会)

イエスとの出会いと、ここ東洋の人々との素晴らしい出会いは、宣教師の私には重要なことです。わたしはここで福音を生かすためにイエスに愛され派遣され、その贖いの業に少しでも協力できる喜びでいっぱいです。

シスター 渡邊 かをる
(援助修道女会)

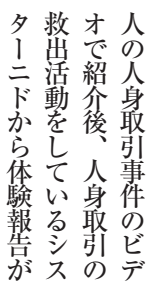
主の「行け!!」というみ言葉に背中を押され、いろいろな所へ派遣されてきましたが、その進む

道を主が照らし、導いて下さったこと。使命を果たす上で助けてくださる人々をその時々を送ってくださったことに感謝しています。

シスター マリア 林 カズ
(聖マリア在俗女会)

私が奉獻生活を決断してきたのは、二人の恩人の存在があります。一人は、障害児施設の園長先生。もう一人は教区司祭です。

奉獻生活の道は険しいと聞いていましたが覚悟して本会に入会しました。新しい人生の旅立ちです。人との出会いは、神様との出会いですね。



「難民・移住の司牧について」第4回勉強会が2月17日、カテドラル地下ホールで開かれた。テーマは「日本における人身取引の現状と支援」。

主催は神言修道会・聖霊会JPIIC委員会、名古屋教区正義と平和委員会。信徒、聖職者ら約70人が参加した。

まず、岐阜で起きたフィリピン人被害者約70人の人身取引事件のビデオで紹介後、人身取引の救出活動をしているシスターニドから体験報告があった。次にシスター塩谷から昨年タイで開催された東南アジアリタタム会議の報告があった。

松浦悟郎司教はコメントとして次のように話した。

「人身取引」という言葉は別の言い方をすると「人身売買」。これは現代の奴隷制度と言われているようなこと。このことで日本は、国連から「最も重い責任がある」と、20年に渡って注意を受けている。「日本は人身売買根絶の最低基準を満たさない国」、残念ながら日本はそういう位置づけになっている。依然として、取引に関わる最悪から10位内に入っている。先進国では日本だけ。日本はおもてなしの国、素

青年女性のための 召命黙想会

テーマ「わたしの愛にとどまりなさい」

指導者 トントン師(神言会)
対象 青年女性
日時 6月16日(土) 14:00~17日(日) 16:00
場所 八事聖霊修道院
参加費 3,000円
問合せ 連絡先 八事聖霊修道院
☎052-832-0434
E-mail: seirei-voc@kss.biglobe.ne.jp

神言修道会で2人の助祭叙階式

神言修道会日本管区の助祭叙階式が3月17日、神言神学院大聖堂で野村純一名司教の司式で行われた。叙階の恵みを受けたのは、サムエル荒田啓示師とヨセフ・ゲエ・タン・ヒ師の2人。

福音朗読後に「叙階の儀」が行われ、助祭候補者の呼び出しと人物の確認が行われた。野村司教より訓話の後、助祭の独自と受階の意思表明と従順の約束が行われた。

司教の按手と聖別の祈りの後、タルマチカの着衣と聖書の授与があり新助祭を迎える式が行われた。

「難民・移住者の司牧について」 第4回勉強会

日本における人身取引の現状

コメンテーター 松浦悟郎司教

「難民・移住の司牧について」第4回勉強会が2月17日、カテドラル地下ホールで開かれた。テーマは「日本における人身取引の現状と支援」。

主催は神言修道会・聖霊会JPIIC委員会、名古屋教区正義と平和委員会。信徒、聖職者ら約70人が参加した。

まず、岐阜で起きたフィリピン人被害者約70人の人身取引事件のビデオで紹介後、人身取引の救出活動をしているシスターニドから体験報告があった。次にシスター塩谷から昨年タイで開催された東南アジアリタタム会議の報告があった。

松浦悟郎司教はコメントとして次のように話した。

「人身取引」という言葉は別の言い方をすると「人身売買」。これは現代の奴隷制度と言われているようなこと。このことで日本は、国連から「最も重い責任がある」と、20年に渡って注意を受けている。「日本は人身売買根絶の最低基準を満たさない国」、残念ながら日本はそういう位置づけになっている。依然として、取引に関わる最悪から10位内に入っている。先進国では日本だけ。日本はおもてなしの国、素

「難民・移住者の司牧について」 第4回勉強会

日本における人身取引の現状

コメンテーター 松浦悟郎司教

「難民・移住の司牧について」第4回勉強会が2月17日、カテドラル地下ホールで開かれた。テーマは「日本における人身取引の現状と支援」。

主催は神言修道会・聖霊会JPIIC委員会、名古屋教区正義と平和委員会。信徒、聖職者ら約70人が参加した。

まず、岐阜で起きたフィリピン人被害者約70人の人身取引事件のビデオで紹介後、人身取引の救出活動をしているシスターニドから体験報告があった。次にシスター塩谷から昨年タイで開催された東南アジアリタタム会議の報告があった。

松浦悟郎司教はコメントとして次のように話した。

「人身取引」という言葉は別の言い方をすると「人身売買」。これは現代の奴隷制度と言われているようなこと。このことで日本は、国連から「最も重い責任がある」と、20年に渡って注意を受けている。「日本は人身売買根絶の最低基準を満たさない国」、残念ながら日本はそういう位置づけになっている。依然として、取引に関わる最悪から10位内に入っている。先進国では日本だけ。日本はおもてなしの国、素

私たちに出来ることは何か。手弁当でがんばっている市民の人たち、弁護士、NPOの人たちとつながること、つなげる。また、どの教会にも技能実習生がたくさんいる。まずは、その人たちと友だちになること。生活で困っていることなどを尋ねたりして相手が言いたくなるような関係をつくること。辛い現実でも、日本の友人が出来るなど、良い思い出を持って帰るだけでも良い。つなげる力は我々にはある。こういう集いに友達を誘う。パレードがあったら参加する。動いてほしい。何かが変わる。さあ、がんばってやっていきましょう!

晴らしい技術の国」と日々テレビで放映されているが、人身取引という部分にしっかりと目を向け、それを無くしていくことで、本場に周りの国から「日本は良い」と評価を受けなければいけない。

タリタタムというのには、聖書の中で、イエス度からすべてが始まっている。外国人は管理するものだという考えが広がっている。

日本人たちは自分ごとでないで関心がない。だから、こういう現実があることを知らせていかなければならない。本場に良い国になるために、過去を見つめて、国内世論を高めていかなければならない。修道会、教会の中でネットワークを使っていくことが大事。

四旬節黙想会

「障害者と健常者が共に」



去る3月17・18日、多治見修道院研修センターに於いて、カ障連と社会福祉委員会の共催で黙想会が行われた。昨年の30回を機に従来の「障害者の黙想会」を改称したものである。狙いは障害者だけの黙想ではなく、健常者と共に考え支え合いたい、共に生きる場、神の思いを知る場にあることである。約60人の参加内1/3強が障害者である。

初日には、「カトリック引き継ぎ『君たちはどう生きるか』(今話題の吉野源三郎原作、昨今は漫画本も発刊されている)をテーマに、富山地区や青年担当の教区司祭片岡義博神父が指導司祭である。

15歳の少年コペル君が自分とは異なるタイプの様々な友人に出会って視野を広げる。少年が体験する思春期の出来事とおじさんのコメントで綴られた物語である。参加者はスクリーンに映し出される画像や言葉、また聖書の話に耳を傾け、自分の過去を振り返り、グループで分かち合った。

ボランティアによる心尽くしの食事は私たちがホッとさせ、和やかな交わりの時であった。夕食後に行った大聖堂での十字架の道行、100個のキャンドルと聖母子像のアイコンを囲む「テゼの祈り」は幻想的で私たちが世俗の喧騒から別世界に誘ってくれるものであった。神の愛、神と共にあることをゆつくり味わうことのできた静かな夜であった。

多治見という大自然の中だからこその屋外でのロザリオの祈り、散歩をしながらの個人黙想、分かち合いとミサ、最後は定番のアーメンハレルヤをもって『カ障連の集い』での再会を約束し帰路についた。毎度のことであるが大勢の協力者と参加者があってこそ出来る黙想会である。会場を貸してくださった神言会の皆様、多治見教会の皆様改めて感謝を申し上げます。

中高生主催の『中高生フォーラム』が、3月26日(土)に教区センターでおこなわれた。今年11名の中高生が集い、身近な問題である「いじめ」について取り組んだ。

臨床心理士・学校心理士の小瀬木尚美さん(布池教会信徒)から、「いじめ」というテーマについて、いま学校で起きている現実について触れたい。いじめがひと昔前よりも高度(先生が気づかないように、気づかれないように、気がついていじめをする人が言い逃れできるようなもの)になってきていること、いじめにあって逃げることが大切だし、いじめを発見

を受けた内容を交えながら伝えてくださった。また、ロールプレイングの手法を用いて、実際に「いじめ」の現場のストーリーをつくって、いじめ役、いじめられ役、あおり役(観衆)、見ぬふり役(傍観者)などに分けて、その役を演じながら、グループで、互いに披露し合い、それぞれの立場を理解したり、自分がそのような場面にあつたら、どのように対応・対処するかを確かめようなど、課題に真剣に取り組んだ。

3日目は、布池教会で行われた聖香油ミサにあずかり、朗読や祭壇の典札奉仕を手伝った。大学生をはじめ、青年たちが、中高生たちと一緒に関わって、食事づくりなどの世話をしながらつながりをつくっている。(春日井教会・梁良我)



去る3月17・18日、多治見修道院研修センターに於いて、カ障連と社会福祉委員会の共催で黙想会が行われた。昨年の30回を機に従来の「障害者の黙想会」を改称したものである。狙いは障害者だけの黙想ではなく、健常者と共に考え支え合いたい、共に生きる場、神の思いを知る場にあることである。約60人の参加内1/3強が障害者である。

初日には、「カトリック引き継ぎ『君たちはどう生きるか』(今話題の吉野源三郎原作、昨今は漫画本も発刊されている)をテーマに、富山地区や青年担当の教区司祭片岡義博神父が指導司祭である。

15歳の少年コペル君が自分とは異なるタイプの様々な友人に出会って視野を広げる。少年が体験する思春期の出来事とおじさんのコメントで綴られた物語である。参加者はスクリーンに映し出される画像や言葉、また聖書の話に耳を傾け、自分の過去を振り返り、グループで分かち合った。

ボランティアによる心尽くしの食事は私たちがホッとさせ、和やかな交わりの時であった。夕食後に行った大聖堂での十字架の道行、100個のキャンドルと聖母子像のアイコンを囲む「テゼの祈り」は幻想的で私たちが世俗の喧騒から別世界に誘ってくれるものであった。神の愛、神と共にあることをゆつくり味わうことのできた静かな夜であった。

多治見という大自然の中だからこその屋外でのロザリオの祈り、散歩をしながらの個人黙想、分かち合いとミサ、最後は定番のアーメンハレルヤをもって『カ障連の集い』での再会を約束し帰路についた。毎度のことであるが大勢の協力者と参加者があってこそ出来る黙想会である。会場を貸してくださった神言会の皆様、多治見教会の皆様改めて感謝を申し上げます。

中高生主催の『中高生フォーラム』が、3月26日(土)に教区センターでおこなわれた。今年11名の中高生が集い、身近な問題である「いじめ」について取り組んだ。

臨床心理士・学校心理士の小瀬木尚美さん(布池教会信徒)から、「いじめ」というテーマについて、いま学校で起きている現実について触れたい。いじめがひと昔前よりも高度(先生が気づかないように、気づかれないように、気がついていじめをする人が言い逃れできるようなもの)になってきていること、いじめにあって逃げることが大切だし、いじめを発見

を受けた内容を交えながら伝えてくださった。また、ロールプレイングの手法を用いて、実際に「いじめ」の現場のストーリーをつくって、いじめ役、いじめられ役、あおり役(観衆)、見ぬふり役(傍観者)などに分けて、その役を演じながら、グループで、互いに披露し合い、それぞれの立場を理解したり、自分がそのような場面にあつたら、どのように対応・対処するかを確かめようなど、課題に真剣に取り組んだ。



ワールドユースデー・イン名古屋 「恐れない」大切さ学ぶ ～教皇メッセージから～

青年委員会主催の『WYD in名古屋』が3月24日、教区センターで行われ、北陸からの参加者をはじめ、ベトナム人の青年たちの参加もあり40人を越える青年たちが集まった。

来年2019年1月に開催されるワールドユースデー(WYD)のパンナ大会に向けて、その準備はすでに始まっている。昨年から世界青年の日のテーマは「マリアを中心

に」である。責任を果たす。テーマを設定し、準備を進めるよう呼びかけられており、今年のテーマは「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みを受けた」となっている。また「マリア」の受胎告知の内容を参加者で寸劇をし、それぞれが今までに学んだ「恵み」について振り返った。ダイナミックメモリーという作業を通して振り返りを持ち、グループで分かち合った。

最後は、松浦司教による派遣のミサで締めくくった。半日のプログラムだったが、多くの参加者とともに大切な時間を分かち合うことができた。(南山教会・松浦友助)

いじめ! そのときあなたは? 臨床心理士さんに学ぶ

中高生フォーラム

中高生主催の『中高生フォーラム』が、3月26日(土)に教区センターでおこなわれた。今年11名の中高生が集い、身近な問題である「いじめ」について取り組んだ。

臨床心理士・学校心理士の小瀬木尚美さん(布池教会信徒)から、「いじめ」というテーマについて、いま学校で起きている現実について触れたい。いじめがひと昔前よりも高度(先生が気づかないように、気づかれないように、気がついていじめをする人が言い逃れできるようなもの)になってきていること、いじめにあって逃げることが大切だし、いじめを発見

を受けた内容を交えながら伝えてくださった。また、ロールプレイングの手法を用いて、実際に「いじめ」の現場のストーリーをつくって、いじめ役、いじめられ役、あおり役(観衆)、見ぬふり役(傍観者)などに分けて、その役を演じながら、グループで、互いに披露し合い、それぞれの立場を理解したり、自分がそのような場面にあつたら、どのように対応・対処するかを確かめようなど、課題に真剣に取り組んだ。

3日目は、布池教会で行われた聖香油ミサにあずかり、朗読や祭壇の典札奉仕を手伝った。大学生をはじめ、青年たちが、中高生たちと一緒に関わって、食事づくりなどの世話をしながらつながりをつくっている。(春日井教会・梁良我)

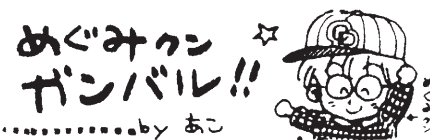
中高生主催の『中高生フォーラム』が、3月26日(土)に教区センターでおこなわれた。今年11名の中高生が集い、身近な問題である「いじめ」について取り組んだ。

臨床心理士・学校心理士の小瀬木尚美さん(布池教会信徒)から、「いじめ」というテーマについて、いま学校で起きている現実について触れたい。いじめがひと昔前よりも高度(先生が気づかないように、気づかれないように、気がついていじめをする人が言い逃れできるようなもの)になってきていること、いじめにあって逃げることが大切だし、いじめを発見

を受けた内容を交えながら伝えてくださった。また、ロールプレイングの手法を用いて、実際に「いじめ」の現場のストーリーをつくって、いじめ役、いじめられ役、あおり役(観衆)、見ぬふり役(傍観者)などに分けて、その役を演じながら、グループで、互いに披露し合い、それぞれの立場を理解したり、自分がそのような場面にあつたら、どのように対応・対処するかを確かめようなど、課題に真剣に取り組んだ。

創団70周年記念シリーズ
男声合唱団東海メールクワイア
第61回定期演奏会
 “数々の実績を残している東海メール活動の4本柱を！
 創団70年の成果を問う魅惑の4ステージ！”
 日時 6月24日(日) 14:00開演 (13:30開場)
 会場 愛知県刈谷市総合文化センター大ホール
 電車 JR 東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅南口より
 ウイングデッキ直結徒歩3分
 演奏 ①エストニアの合唱音楽、②男声合唱とピアノのためのくちびるに歌を、③男声合唱組曲 内なる遠さ(高田三郎作曲)、④男声合唱組曲ニウムーン。
 入場料 全席自由 2,000円 未就学児童の入場はご遠慮ください
 中島 暁 (チケット申し込み) ☎/Fax 052-811-4330
 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
 主催 東海メールクワイア
 Facebook <https://www.facebook.com/TohkaiMaleChoir/>
 ホームページ <http://choir.jpn.ph/tmc/>

名古屋教区カトリック女性の会
 いつき かい
「樹の会」
第11回総会・講演会ご案内
 日時 5月19日(土)
 〈総会〉13:00～13:40 (受付 12:30)
 〈講演会〉14:00～15:30 (受付 13:40)
 場所 カトリック南山教会マリア館2F
 大ホール
 講師 マイケル・シーゲル神父
 南山大学社会倫理研究所客員教授
 演題 ☆共に生きる地球家族☆
 今問われる私たちの選び 私決意
 ☆連絡先 「樹の会」事務局
 (☎090-5107-0644 平尾)



5月の教会暦
 (祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日
 2日(水) 聖アタナシオ司教教会博士(記)
 3日(木) 聖フィリポ聖ヤコブ使徒(祝)
 6日(日) 復活節第6主日
 世界広報の日(献金)
 13日(日) 主の昇天(祭)
 14日(月) 聖マチア使徒(祝)
 20日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
 聖なるおとめマリア教会の母(記)
 26日(土) 聖フィリポ・ネリ司祭(記)
 27日(日) 三位一体の主日(祭)
 31日(木) 聖母の訪問(祝)
6月の主な教会暦(主日・祭日など)
 3日(日) キリストの聖体(祭)
 8日(金) イエスのみ心(祭)
 10日(日) 年間第10主日
 17日(日) 年間第11主日
 24日(日) 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)
 聖ペトロ使徒座への献金
 聖ペトロ聖パウロ使徒(祭)
 29日(金) 年間第11主日

5月
 8日(火) 難民移住移動者委員会/社会福祉委員会/樹の会
 12日(土) 信徒協役員会/共助連絡会
 13日(日) 城東B会議/三河B会議/教区中高生会/一粒会委員
 15日(火) カトリック看護協会例会
 17日(木) 月集*
 19日(土) 正義と平和学習会/樹の会
 総会/レジオ名古屋クリア
 城北B会議/城南B会議/城北B堅信式(五反城教
 20日(日) 総会

5月
 9日(水) 日本カトリック難民移住移動者委員会
 10日(木) 常任司教委員会
 11日(金) カピタニオ高校創立55周年

5月
 17日(日) 愛岐B会議/一粒会の集い(緑ヶ丘教会)*
 19日(火) カトリック看護協会例会
 21日(木) 司祭評議会*
 23日(土) 信徒協役員総会
 24日(日) 修女連交流会
 25日(月) 26日(火) 司祭研修会
 30日(土) 典礼委員会

5月
 9日(水) 日本カトリック難民移住移動者委員会
 10日(木) 常任司教委員会
 11日(金) カピタニオ高校創立55周年

告知板
 22日(火) AOS全国区会議
 29日(火) 南山学園評議員会
 6月
 7日(木) 常任司教委員会、社会司教委員会
 22日(火) 追加工事及び訂正
 3月23日現在(一)内は前任
 (城南ブロック)
 日比野教会主任司祭・八熊教会主任司祭(兼任) ウイルフレッド・ペトルス・ソバ(助任司祭) カルメル修道会
 港教会主任司祭 山野聖嗣(助任司祭) アウグスチノ修道会
 港教会助任司祭 山口正美(主任司祭) 同会
 (愛岐ブロック)
 瑞浪教会主任司祭 シーランド・ジョン(9月1日まで) 神言修道会
 瑞浪教会主任司祭 アーノルド・ブルム(5~9月まで休暇のためドイツに帰国。9月2日より) 神言修道会
 (その他)
 カルメル会本部事務局管理者及び総長代理秘書 古川利雅神父(日比野教会、八熊教会主任司祭) カルメル

建設費の返済に協力を
 580件 28,833,675円
 目標額 40,000,000円 (3月末)
 達成率 約72.0%
 郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

2018年度キリシタン史勉強会のお知らせ
 第1回 主税町記念聖堂 4月14日(土) 13:00~
 金沢教会 5月13日(日) 14:00~
 イントロダクション(ミカエル松浦悟郎司教)
 「16世紀西欧の宗教状況と日本宣教の進展」(橋本裕明氏)
 第2回 主税町記念聖堂 7月16日(月・祝) 13:00~
 金沢教会 9月9日(日) 14:00~
 キリシタン文化を考える(青山玄神父)
 仮題 「日本に影響を与えた宣教師がもたらしたキリスト教」
 第3回 主税町記念聖堂 11月3日(土・祝) 13:00~
 金沢教会 11月18日(日) 14:00~
 キリシタン禁制の歴史その1(浅井太郎神父)
 仮題 「豊臣秀吉、徳川家康、秀忠、家光の時」
 連絡 講師の都合により講題テーマは変更になる場合があります
 お申込み不要 参加無料(席上献金あり)
 ご希望の方は各教会へお出かけください
 主催 カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会
 問合せ ☎052-936-8366

訂正とおわび
 シーゲル神父の所属先が「南山大学社会学部研究所」となっていました。正しくは「社会学部研究所」です。おわび申し上げます。

修道会
 (第1次人事の訂正)
 新潟教区ではなく仙台教区へ フェルディナンド・ファミニアラガオ・神言修道会

主にささげる24時間~聖体礼拝
 毎月第2・第4(木) 19:00~(金) 19:00 主税町記念聖堂
 問合せ ☎052-935-2223 (教区事務所)
 090-1623-1170 (平田政信神父)

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ
「ロザリオの祈り」 5月13日(日) 14:00~ (40分程)
「読書会」 5月19日(土) 14:00~15:30
 「パウロの福音」カルロ・マリア・マルティーニ著
 連絡先 ☎052-936-4443 FAX 052-799-4461

「青年のための聖書の学び」5月20日(日)
 テーマ: ルカ16章 兄弟とは! (金持ちとラザロ)
 対象 青年男女(18~32歳)
 時間 14:00~19:50 (高校生16:30まで)
 FB 「青年のための聖書の学び」
 HP http://www.concepcionistas.jp/
 連絡先 ☎052-782-5850 名古屋市千種区園山町1-56
 聖マリアの無原罪教育宣教師修道会
 担当者 シスター碓(いかり) 政子

インターナショナル・ミサ
 ~子どもとともに捧げるミサ~
 「みんないっしょ、むかえる人もくる人も」
 日時 5月20日(日) 14:00~
 場所 カトリック南山教会 名古屋市昭和区南山町1
 司式 ミカエル松浦悟郎司教
 交通 地下鉄鶴舞線いりな地下車 ②番出口徒歩7分
 連絡 ミサ後は持ち寄りパーティー
 主催 名古屋教区難民移住移動者委員会
 共催 教会学校教師会
 問合せ ☎052-953-9480

教区正義と平和委員会学習会のお知らせ
 今年11月23・24日に名古屋教区で開催される正義と平和全国会議集会に向けて、事前の学習会5回を開催します。5月と6月を紹介します。ご参加ください。
 ☆5月19日(土) 13:30~15:30
 テーマ 「聖書の人間論」
 講師 竹谷基神父(正平委員長・神言会司祭)
 ☆6月16日(土) 13:30~15:30
 テーマ 「憲法」
 講師 猪瀬俊雄(正平委員長・高蔵寺教会)
 場所はいずれも名古屋教区センターです。
 主催・問合せ 教区正義と平和委員会
 Fax 052-935-7195

第82回 聖霊病院 春の聖書展
 と き: 5月21日(月)~23日(水)
 テーマ: 交わりの中で生きる

日時	内容	講師
5月21日(月) 17:15 2号棟4階(第2会議室)	聖書の集い	神言会助祭 荒田 啓示氏
5月23日(水) 15:30 聖霊ホール	【聖書展コンサート】 Grace of the Holy Spirit によるコンサート	ピアノ 南原摩利 ソプラノ 堀江裕美子 ソプラノ 松川幸江 バリトン 早川達志 リコーダー 山本智子 ギター 山田 純
3号棟 1階・2階	【展示】 交わりの中で生きる	
3号棟2階 エレベーター前	【聖霊病院華道部作品】	
玄関ホール	【販売】 キリスト教書籍、絵本、カード、手づくりクッキーなど	

お一人でも多くの皆さまのご来場をお待ちしております。
 《お問い合わせ先》
 聖霊病院
 名古屋市昭和区川名山町56
 カトリック社会事業室 Tel(052)832-1181(担当: Sr. 三根)
 (交通) 地下鉄【鶴舞線】いりな地下車、1番出口徒歩2分

映画 father
 カンボジアへ幸せを届けた
 ゴツちゃん神父の物語
 神言会・後藤文雄神父を追ったドキュメンタリー映画。名演小劇場にて、6月30日~。